

父親の産後うつとボンディング障害：自治体による支援の指針

自治体職員が父親のメンタルヘルスの現状を理解し、リスクの早期発見と適切な支援体制を構築するための重要ポイント

父親のメンタルヘルスとボンディングの実態



父親の約**11.2%**が
産後1ヶ月でうつ症状
を呈する

産後1～6ヶ月の間に新たに発症する
割合も6.5%にのぼります。



約**8%**の父親に子どもへの
「愛着の欠如」や「拒絶」が
見られる

1ヶ月時点でのボンディング障害は、その後の父親のうつ発症に強く関連します。



母親の精神状態と
家庭環境が最大の
リスク要因

母親のうつや心理的苦痛、妊娠中の家庭内暴力(IPV)が父親に連鎖します。

産後うつ症状
(EPDS-J ≥ 8)

11.2%

ボンディング障害：
愛情の欠如 (LA)

8.3%

ボンディング障害：
怒りと拒絶 (AR)

7.9%

自治体に求められる支援のポイント



両親ペアでの
スクリーニングと
評価の実施

父親の状況は母親と関連するため、
夫婦セットでの評価が効果的です。



産後6ヶ月までの
継続的なモニタリング

1か月健診以降も、新発症のうつ
リスクに備えた見守りが必要です。



IPV（家庭内暴力）
への早期介入

身体的・精神的IPVはボンディング
障害の明白なリスクであり、介入が
必須です。